

23年度通常総会議事録

- 1 日 時 平成 23 年 7 月 2 日（土）15 時 30 分～17 時
- 2 場 所 茨城県那珂郡東海村村松 2124-11 総合福祉センター「絆」ボランティア室 3
- 3 出席者数 正会員 12 名、委任状提出 5 名（5 月 31 日時点での正会員数 22 名）
＜出席者名＞谷口、土屋、佐藤、清水（朋）、寺西、池田、中村、村松、小宮山、
恵利、泉（幸）、阿部（以上、正会員）、澤井、酒井、大堀（活動会員）

- 4 議長および議事録署名人について
 - ・谷口武俊が議長として議事進行を行った。
 - ・議事録署名人として、佐藤隆雄と土屋智子が議長より指名された。

5 審議事項

(1) 22 年度事業活動報告案および収支決算書案について

22 年度事業活動報告（案）および収支決算書（案）の内容の説明が行われた。全員意義なく承認された。

(2) 23 年度事業活動計画および予算案

23 年度事業活動計画（案）と予算案が審議された。東日本大震災を受け、リスクコミュニケーション研修講師の収入減、東海村支部の情報発信活動の活発化により支出増に伴い、来年度予算は次年度への繰越額が大幅に減少する見込みであることが説明された。

活動内容に対する活発な意見交換があり、東日本大震災を受け、住民の放射線に対する不安感が高まっていることから、当 NPO のリスクコミュニケーション活動を積極的に展開すべきとの意見が出された。一方、他地域に比べ、東海村民の放射線に関する不安感や関心は高くないのではないかとの疑問も出された。代表理事より東海村支部で充分議論して実施すること、実施に必要な支援は行うことが示された。東海村支部の中心的活動である「視察」に対しては、内部の審査に関わらないのではあまり効果がないのではないかとの意見が出されたが、視察活動に関わったメンバーからは通常の見学や説明会以上の情報・意見交換が行われているとの反論が出された。代表理事より、原子力事業者とのコミュニケーション活動は活動の柱であり、内部の問題も議論できるような関係をつくることが重要、との意見が出された。以上、活発な意見交換の後、23 年度事業計画と予算案は承認された。

(3) その他

理事改選結果が報告され、すべての理事・監事が再任された。また、理事の互選により、代表理事、副代表理事、監事が再任された。理事会からの提案として、代表理事が、理事改選方法について出席者の意見を求めた。活動を状況に合わせて刷新していくとともに、継続性を維持する選出方法を議論し、定款の見直しを検討していくことになった。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人が次に署名押印する。

平成 23 年 7 月 5 日

代表理事 谷口 武俊



副代表理事 佐藤 隆雄



副代表理事 土屋 智子



この写しは議事録の原本と相違ないことを証明する。

平成 23 年 7 月 5 日

名称 特定非営利活動法人 HSE リスク・シーキューブ

東京都世田谷区経堂 1-27-9 経堂シティハウス 401

代表理事 谷 口 武 俊

